

## 基本施策 27 農業振興と農地保全の推進

【施策統括課：産業振興課 主な関係課：都市計画課・南部地域整備課】

### ＜現状と課題＞

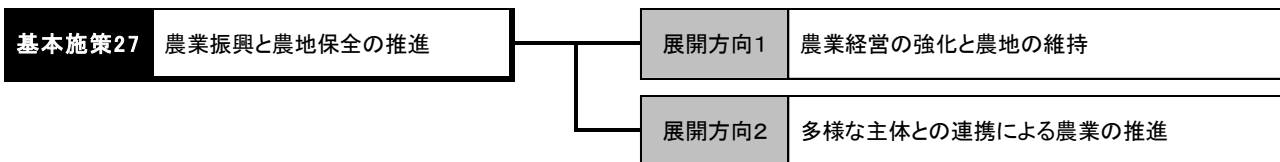
- 現在、我が国の農業を取り巻く状況は、基幹的農業従事者<sup>34</sup>の高齢化や耕作放棄地の増加、農業所得の減少など厳しさを増しており、これらを克服し、未来への活力を取り戻すことが待ったなしの課題となっています。
- 我が国の農業を巡る諸情勢に鑑み、平成 25(2013)年 12 月 5 日に農地中間管理事業の推進に関する法律及び農業の構造改革を推進するための農業経営基盤強化促進法等の一部を改正する等の法律が成立し、同年 12 月 13 日に公布されました。
- この法律は、国内農業の構造改革を推進するため、農地利用の集積集約化を行う農地中間管理機構を都道府県段階に創設するとともに、機構の設立にあわせ、遊休農地解消措置の推進、青年等の就農促進策の強化、農業法人に対する投資の円滑化等を講じるものです。
- 「農林業センサス東京都報告」によると、国立市内でも、農地が平成 2(1990)年の 102ha から平成 22(2010)年の 48ha、農家数が平成 2(1990)年の 210 戸から平成 22(2010)年の 76 戸へと大きく減少しているとともに、平成 22(2010)年では農業従事者の 8 割が 60 歳以上となるなど、担い手の減少及び高齢化が顕著な状況にあります。
- 市南部を中心に営まれている農業・農地は、新鮮で安心・安全な農産物の提供、地産地消の推進、農業体験等を通じた市民相互及び生産者とのコミュニケーションの促進、ハケ・用水・農地から構成される「くにたち」独自の景観的魅力、災害時の延焼遮断など、本市にとってなくてはならない多面的な機能を有しています。
- 国立市では、自然豊かな城山公園と畑が残る城山地区に、農業体験及び農業の情報発信の拠点として、「城山さとのいえ」を整備しました。また、生産者と市民の相互理解を深める、くにたち版 C S A<sup>35</sup>の普及を図る取組を展開しています。
- 農業・農地の有する多面的機能が今後も適切に維持・発揮されるよう、より多くの市民や事業者等との連携・協力の下、市全体で農業・農地を守り支えていくための取組を強化していく必要があります。

<sup>34</sup> 農業に主として従事した世帯員（農業就業人口）のうち、普段の主な状態が「仕事に従事していた者」のことをいう。

<sup>35</sup> Community Supported Agriculture（地域支援型農業）の略であり、地域の住民が農業を支える仕組みのこと。

## <施策の目的及び体系>

地産地消や農業体験など市民が農業に親しめる環境づくりを進めるとともに、農業経営の強化や農業後継者の育成を促進し、農業・農地を適切に保全していきます。



## <展開方向1：農業経営の強化と農地の維持>

### 【目的】

国立の重要な地域資源である農業・農地の多面的機能が、今後も適切に維持・発揮されるようにします。

### 【手段】

- ◆都内で進められている農業特区制度など、農地の利用・保全に関する諸制度の効果的な運用等を通じ、農業を支援し、農地の保全及び有効利用を促進します。
- ◆他の機関との連携・協力の下、市内農業者の経営力の強化に向けた取組を支援します。
- ◆くにたち独自の景観的魅力である谷保の原風景を保全していくため、貴重な景観を有するエリアの農地を公有地化し、保全していきます。
- ◆東京に残された数少ない水田とそれを支える府中用水の保全に取り組みます。

### 【展開方向の進捗状況を測定するための指標】

指標名	単位	指標の説明又は出典元	実績値	目標値	
				H31年	H35年
農地面積の減少率	%	同左 (各年4月1日現在)	3.89(市) (H25年) 【参考】 1.35(都)	2.69(市)	1.89(市)
市域面積に占める水田面積の割合	%	同左 (各年4月1日現在)	0.98 (H26年)	0.98	0.98
認定農業者 <sup>36</sup> の人数	人	同左 (各年4月1日現在)	10 (H26年)	30	33

<sup>36</sup> 自らの農業経営の改善を図り、効率的で安定的な農業経営を目的とした農業経営改善計画を作成し、その計画が市の認定を受けた農業経営者・農業生産法人。認定を受けると金融措置や税制措置等の支援を受けることができる。

## <展開方向2：多様な主体との連携による農業の推進>

### 【目的】

農業・農地の有する多面的機能への市民理解を深め、地域ぐるみで農業・農地を守り支えるための取組を推進します。

### 【手段】

- ◆生産者と市民の相互理解を深めるとともに、地産地消を拡大するための取組を促進し、くにたち版C S Aの普及を図ります。

### 【展開方向の進捗状況を測定するための指標】

指標名	単位	指標の説明又は出典元	実績値	目標値	
				H31年	H35年
農産物の推定生産額	千円	作付面積より産業振興課で算定	164,109 (H26年)	172,480	181,280
城山さとのいえ体験事業等に満足した参加者数	人	城山さとのいえ体験事業等のアンケートにおいて満足と回答した参加者の数	803 (H27年末)	900	900